

<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<p>一つの成果は、1917 年 9 月に定められた「平良尋常高等小学校校規」を翻刻し、冊子として発行したことである。同校は、現在宮古島市立北小学校となっているが、砂川校長先生の許可を得て翻刻することが出来た。この校規を見ることで当時の学校教育の実態が窺えると同時に、現在の学校教育と比較したときに、何が変わり、何が変わらなかったのかが見えてくる。当時の方が、職員会の活性化につながる工夫が読み取れるという考えさせられる規定も見られた。</p> <p>二つ目の成果は、靖国神社に招待された子どもの新聞記事の発見である。沖縄県から招待された少年のなかに宮古島の狩俣尋常高等小学校の子どもがいた。教育実習に帰った学生に人物の確認と証言を依頼したが、本人はよく覚えていないということが分かった。他にも父が戦死し、兄も戦場に行っている女子の事例もあるが、まだ当事者の確認はできていない。</p> <p>三の成果は、沖縄空手の学校への導入についての講演である。タイムスと新法の 2 紙に取り上げられた。講演では、体育観の転換、徳育養成の機運、空手文化の豊かさ等から導入を考える必要があることを述べた。</p>
--	---